

大阪・坪井遺跡

1 所在地 大阪府四條畷市岡山

2 調査期間 一九七五年(昭50)十一月～一九七六年三月

3 発掘機関 四條畷市教育委員会

4 発掘担当者 野島 稔

5 遺跡の種類 集落跡

6 遺跡の年代 古墳時代後期、平安時代後期～室町時代

7 遺跡及び木簡出土遺構の概要

坪井遺跡は、生駒山系から派生する洪積台地上の標高約二六mに立地している。忍ヶ丘駅前遺跡の北側、四條畷市と寝屋川市境の讚良川までの範囲が周知の遺跡として知られている。京都の東寺から高野山に至る東高野街道沿いに広がる集落跡であった。一九七五年



(大阪東北部)



に、国鉄片町線複線化に伴う事前発掘調査を四條畷市教育委員会が実施した。その結果、柱穴・石組井戸・曲物井戸・素掘り井戸・溝等多数が検出された。木簡は、径三・五m、深さ一・五mの素掘り井戸から瓦器椀・土器皿・羽釜・下駄・木槌・槌ノ子・漆器椀とともに出土したもので、土器型式からみて一三世紀末に比定されるものである。

8 木簡の积文・内容

(1) ・「こむき三斗六升

・「こむき三斗六升

(191)×21×4 019

(野島 稔)